

## 釜石発

## 震災から5度目のお盆

震災から5度目のお盆を迎えました。山門に津波で命を落とした寺の信徒や檀家、合わせて240人の名前を刻んだ慰霊碑が建立されている釜石市大只越町の石応禅寺でも、朝早くから墓参りをする家族連れの姿が見られました。街の復興が進む中、癒されることのない悲しみとあらためて向き合う、被災地のお盆となりました。(8/13 ニュースエコー)



## 陸前高田発

## 絵本「希望の木」



陸前高田市の「奇跡の一本松」をモチーフにした絵本が出版されました。津波からただ1本生き残った松を「レイラ」という少女にたとえ、命が

過去、現在、未来へと続いていくことを伝える絵本『希望の木』。作者は「千の風になって」の作詞作曲でも知られる新井満さん。絵を手掛けたのはアニメ映画「もののけ姫」の美術監督を務めた山本二三さんです。新井さんは、津波から生き残った人たちに「生きぬいてほしい」という思いを込めて物語を書いたと話しています。(8/13 ニュースエコー)

## 陸前高田発

## 再生「絵画展」

東日本大震災からの再生などを描いた絵画展が陸前高田市で開催されています。

陸前高田在住の田崎飛鳥さんと

矢巾町在住の水沼久直さんの作品13点で、田崎さんは津波で失われた故郷の街並みを色彩豊かに描きました。一方、水沼さんは繊細な線と鮮やかな色使いで震災からの再生を表した「完全な復活の津波」を制作しました。2人の絵画展は、「ひまわりハウス」で8月31日まで開催されています。(8/14 ニュースエコー)



## 釜石発

## コンテナ取扱い量

復興支援道路の整備効果で、釜石港の今年のコンテナ取扱い量が、県内の年間最高を塗り替えました。釜石市によりまずと震災後整備が進む



復興支援道路によって内陸からの輸送時間が短縮され、コストが下がった効果が現れているということです。釜石港からは震災後に京浜港と結ぶ定期便が週一回運行されるようになっていますが、市では復興の牽引役としてさらに定期航路の拡充を進めたいとしています。(8/18 ニュースエコー)

## 宮古発

## 宮古湾の生態系調査



宮古湾内の生態系が順調に回復していることが確認されました。調査は宮古湾の環境保護に取り組むカキ養殖漁家の山根幸伸さんと水産

総合研究センター、そして東京大学大気海洋研究所の学生が毎月行っているものです。今回の調査は、湾内6か所で船の上から網を放し稚魚を捕獲しましたが、カタクチイワシやクロソイなどの稚魚が大量に上がり、生態系の回復が改めて確認できました。宮古湾では魚の産卵場所となる海草の群生地も回復してきていて、自然の力による海の復興が進んでいます。(8/18 ニュースエコー)

## 大槌発

## さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は、おおつちさいがいエフエムから。NPO法人「まちづくり・ぐるっとおおつち」の岩間敬子さんに8月15日(土)に大槌町の赤浜地区で行われた東日本大震災後「初」の盆踊り大会について伺いました。地域を盛り上げたいという気持ちから開催され、盆踊りのほか、カラオケ大会、こども遊びコーナーや、イカ焼きなどのグルメも登場。仮設住宅の人や、普段遊び場が少ない子供たちも、大変喜んでいたとのこと。毎年、続けていけたらと岩間さんは話していました。(8/19)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122